

鬼無里地区住民自治協議会

夢中でやってたら・・・こうなった！

長野市北部の山間部に位置し、高齢化が進んでいる地区です。急に一人暮らしになる男性が増加！何とかしなければと試行錯誤していますが、うまくいきません。今回発表することで全国の皆さんと悩みも共有出来たらと！



ひとり暮らしの男性たちの『鬼おやじの会』に、「バス停のベンチを作りたい」と相談しました。

「実は、予算はほとんどないんですよ。。。」と伝えたところ……。

バス停なら、
屋根がいるな！！

俺は、死ぬまでに
もう一度、茅が葺きたい



↑柱を立て始める所



↑茅葺き屋根は、別の場所で作り始めました



↑柱に屋根を載せて一服



↑壁も欲しいよな・・・と初めてのよしず編みに挑戦

ということに、なり(´_`) 話がどんどん大きくなって、
こんな立派な「バス停」になってしまいました！

by 95歳 茅葺き職人

鬼無里は、少子高齢化の過疎地です。何にもないところだけど、おやじたちの作った茅葺き屋根のバス停、見に来て欲しいな。→<観光の活性化？>

共同作業をすることで→<通い、集いの場づくり>

予算の問題などもありました。意見がまとまらず、揉めることもあります。。それも課題です。次は有料で作ろうかな？(´_`)

→<経済の活性化？>

定例会に発展・・・とはいかず、今後の活用方法や活動の発展については、課題が残っています。これからも一緒に考えていければと思います。いいアイデアないですか？(´_`)



きなさ
長野市鬼無里
住民自治協議会